

○西郷小学校ESDカレンダー 評価規準表（2021年度）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
5年 探究課題	◆オリエンテーション(3) ・1年間のめあてや見通しをもつ ・SDGsについて知ろう	◆西郷の農業について調べよう(30)				◆自分の将来のためにできることについて考えよう(20)				◆6年生になるために(15)				
		<ul style="list-style-type: none"> 米作りの工夫について調べよう(種まき⇒田植え) 地域の方の農業に対する工夫や思いを知ろう 地域の野菜について調べよう 農業の魅力を伝えるために、自分ができるところを考え、実行しよう 				<ul style="list-style-type: none"> 米作りの工夫について調べよう(稲刈り) 学習したことをまとめ、きてみんしゃい 祭りで全校や地域の方に発信しよう 収穫の喜びを味わおう 				<ul style="list-style-type: none"> 6年生を送る会を成功させよう 6年生に感謝の気持ちを伝えるためにできることを考え、実行しよう 				
評価の観点とその趣旨(評価規準)														
知識・技能 (6つの構成概念を記入)	<p><多様性><連携性><有限性></p> <ul style="list-style-type: none"> 西郷の農業の工夫について知り、その特色を知ること、よさを理解している。 調べ学習を目的や対象に応じた適切な方法で実施している。 農業と自分たちの生活が繋がっていること、西郷地区の農業の工夫や魅力について探求的に学習してきたことの成果であると気付いている。 					<p><多様性><連携性><責任感></p> <ul style="list-style-type: none"> 社会には生活を維持したり発展させたりするために様々な職業があり、どんな職業にも価値があることを理解している。 ゲストティーチャーへのインタビューを、相手や場面に応じた方法で実施している。 自分の将来の生き方に対する認識の高まりは、夢を叶えるために自分ができることについて探求的に学習したことの成果であると気付いている。 					<p><相互性><連携性></p> <ul style="list-style-type: none"> 学校のリーダーとしての6年生の役割について理解している。 6年生に感謝の気持ちを伝えるためにできることを自分たちで考え、計画・実施している。 味わえた達成感や6年生から伝統を受け継ぐという自覚の高まりは、協力して役割を分担し、最後までやり通したことによるものであると気付いている。 			
	思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> 西郷地区の農業の工夫や魅力を伝えたいという思いを踏まえて課題を設定し、解決方法や手順を考え、見通しを持って課題解決のための計画を立てている。 JAの方や農家の方に話を聞いたり、実際に作業を体験したりと多様な方法で情報を集めている。 課題解決に向けて「実現可能か」「意味があるか」等の視点で自らの取り組みの確かな理由を見いだしている。 西郷地区の農業について相手や目的に応じて分かりやすくまとめ表現している。 					<ul style="list-style-type: none"> 自分の将来の夢を実現するためにひつようなことについて見通しをもつ。 ゲストティーチャーへのインタビューや、意見交流会において行う質問について、必要とする情報に応じて質問の内容や方法を決めている。 課題の解決に必要な情報を取捨選択したり、複数の情報を比較したり関係づけたりしながら解決に向けて考えている。 自分の将来の夢を叶えるための方法について調べたこと、分かったこと、自分の思いなどを1シートにまとめている。 					<ul style="list-style-type: none"> 6年生に感謝の気持ちを伝えるためにできることを、決められた時間内に効率よくできるように計画を立てている。 それぞれの役割担当として準備していく中で、必要とする情報に応じて適切な方法を自分たちで決めている。 感謝の気持ちを表すにはどうすればよいかということ、を念頭に置き、それぞれの役割を果たす根拠を見出している。 感謝の気持ちを伝える内容に応じて、適切な方法で表現している。 		
		主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> 調べ学習や農作業の体験活動、それらをまとめることを通して、西郷地区の農業の工夫や魅力を見出そうとしている。 西郷地区の農業の工夫や魅力を伝えるための探求的な活動体験を通して、自分と違う友達のことを生かしながら、協働して課題解決に取り組もうとしている。 西郷地区の農業の工夫や魅力を伝えるために、友達と役割を分担したり、自他の考えのよさを生かしたりしながら問題の解決に向けて協力して取り組もうとしている。 					<ul style="list-style-type: none"> 調べ学習やゲストティーチャーの話、それらをまとめることを通して、自分の将来の職業について学ぶ意味を見出そうとしている。 自分の将来の夢をかなえるための方法について自分で調べたり、質問をしたりして、課題解決に関わろうとしている。 働くことの意味を自分なりに考え、自分の将来の夢を叶えるためにできることを取り組もうとしている。 					<ul style="list-style-type: none"> それぞれのグループで考えを交流してよりよい感謝の伝え方を見出そうとしている。 それぞれのグループ内で、目的意識を明確にして関わろうとしている。 これからも他者のために自分ができるところについて考え、実行しようという気持ちをもって取り組もうとしている。 	

○持続可能な社会づくりの構成概念（国立教育政策研究所）

- | | | |
|--------------|---------------|-------------|
| ①多様性：いろいろある | ②相互性：関わり合っている | ③有限性：限りがある |
| ④公平性：一人一人大切に | ⑤連携性：力を合わせて | ⑥責任性：責任をもって |